

## 中消防署開設 100 周年!! 記念事業を開催します

2019 年 9 月 1 日 中消防署は開設から 100 周年  
**過去から現在そして未来へ**  
地域防災の絆を繋ぎます



1919 年 9 月 1 日、中消防署は開港により急速に都市化が進んだこの中區で事務を開始し、今年で開設から 100 周年を迎えました。

### 1 防災イベント「中消防 100th Anniversary 大感謝祭 ～未来に託す防災のバトン～」

「119 番の日」に、119 番通報などの各種消防・防災の体験や、中消防署及び米海軍消防隊、自衛隊などの車両の展示、消防グッズがもらえるスタンプラリーなどを実施します。

【日時】令和元年 11 月 9 日（土）10 時から 15 時まで

【場所】日本大通り（県庁前）下記案内図参照

【内容】(1) 消防車等車両及び資機材展示

(2) 119 番通報体験

(3) 電動ミニ消防車、ミニ救急車搭乗体験

(4) 子供向け防火衣装着体験

(5) 防災ワークショップ「防災ジャパンド」

(6) スタンプラリー（記念品進呈）（※1）

(7) その他



※1：スタンプラリーでは、各種防災体験と横浜開港資料館の企画展示（裏面下部詳細）を御覧になった方に記念品を進呈します。記念品は、中消防署特製「豆半纏」や元町の「株式会社キタムラ」製（※2）のペン立て、キーホルダーなどを御用意しています。（記念品がなくなり次第受付を終了します。）

ペン立て・キーホルダー



豆半纏

**Kitamura**  
3-126 MOTOMACHI



案内図（共通）

※2：中區の元町で明治 15 年に創業した「株式会社キタムラ」様の御協力により、役目を終えた消防用ホースを素材としたグッズを作製していただきました。

中消防署 100 周年の記念として、この日この場所でしか手に入らない限定品です。

裏面あり

## 2 中区防災減災講演会「戦前における消防の発展と横浜」 (中消防署・中区役所・横浜開港資料館 共同開催)



横浜は開港から急速に都市化が進み、度々の大火を経験したことで、「組織的な消防」は必要不可欠なものとなりました。

そして大正8年9月1日、中消防署の前身である「第二消防署」が誕生しました。先人は数々の大火や災害に立ちむかい、それを乗り越える力を身に着け現在に至ります。戦前における消防の発展に影響を与えた過去の災害から学び、今後起こり得る災害に十分に備えることができるよう講演いただきます。

(※ 当日は要約筆記を実施します。)

【日時】令和元年11月30日(土) 14時30分から16時30分まで

【場所】横浜開港記念会館(横浜市中区本町1-6) 前頁案内図参照

【定員】300名(先着順受付、事前申込不要) ※参加無料

### 講師紹介 鈴木 淳(すずき じゅん)氏

1962年東京生まれ、1986年東京大学文学部国史学専修課程卒、1992年同大学院人文科学研究科博士課程修了。東京大学社会科学研究所助手、教養学部助教授などを経て2012年から東京大学大学院人文社会系研究科・文学部教授。

著書『明治の機械工業』、『維新の構想と展開』、『新技術の社会誌』、『町火消たちの近代—東京の消防史』、『関東大震災』など



### 100周年関連事業 横浜開港資料館企画展示「横浜の大火と消防の近代史」

安政6(1859)年の開港以降、火災を克服するため、横浜に暮らす人びとは試行錯誤を重ねながら防火体制を整えていきます。そして災害とむきあう「消防」は都市横浜に不可欠な存在となってきました。本展示では、開港直後の町火消から戦後の自治体消防に至る横浜消防のあゆみをたどっていきます。

【会期】令和元年11月2日(土)から令和2年1月26日(日)まで

【会場】横浜開港資料館(横浜市中区日本大通3 TEL:045-201-2100) 前頁案内図参照

【開館時間】午前9時30分~午後5時(休館日は月曜日(月曜が祝日の場合は翌日)、年末年始)

【入館料】一般200円/小・中学生100円

### 取材について

- 本件について取材を希望される場合は、下記お問合せ先にご連絡の上、当日は直接会場にお越しください。
- 災害等の対応、荒天等によりやむなく中止にする場合は、ご連絡させていただきます。

### お問合せ先

消防局中消防署副署長 岸 了人 Tel 045-251-0119



中消防署 100th Anniversary

# 大感謝祭

～未来に託す防災のバトン～

2019年 **11**月**9**日(土)

10:00～15:00

場所: 日本大通(県庁前)



中消防署開設100周年



## 大感謝祭内容

- ・消防車等車両及び資機材展示
- ・心肺蘇生法 AED体験
- ・子供向け防火衣着装体験
- ・電動ミニ消防車 ミニ救急車搭乗体験
- ・119番通報体験
- ・防災ワークショップ「防災ジャパング」
- ・着衣着火対応訓練 ほか



お問合せ 横浜市中消防署総務・予防課予防係 電話 045-251-0119

# 大感謝祭

## 11月9日(土)

### 10:00～スタート

#### 電動ミニ消防車 ミニ救急車搭乗体験

専用コースを電動ミニ消防車  
ミニ救急車で走行してみよう!



#### 着衣着火対応訓練 「ストップ、ドロップ＆ロール」



#### 子供防火衣装着体験、119通報体験



#### 防災ワークショップ「防災ジャパンダ」

災害から身を守る、みんなで助けあ  
う「知恵や技」を身体を動かしながら  
楽しく学ぶことができます。



#### 車両・資機材等展示

- ・山下町特別救助隊
- ・本牧和田大型放水延長隊
- ・本牧和田大型化学高所放水隊
- ・救急車
- ・消防団小型ポンプ積載車
- ・米海軍日本管区司令部消防隊
- ・自衛隊災害対応車両
- ・神奈川県警察 ミニ白バイ
- ・神奈川県警察交通安全指導車



(変更となる場合があります)



#### 中消防署開設100周年

過去から現在そして未来へ  
——地域防災の糧をつなぎます——



元町の「株式会社キタムラ」様に消防ホース  
を素材にして作成していただいた、ここでし  
か手に入らないレアグッズもあります!

#### 心肺蘇生法体験



各会場にある  
スタンプを  
すべて押して  
素敵な景品を  
GETしよう!



## 横浜市中消防署開設100周年記念 横浜の大火と消防の近代史

- 【会場】 横浜開港資料館  
横浜市中区日本大通3 TEL:045-201-2100
- 【会期】 2019年11月2(土)～2020年1月26日(日)
- 【開館時間】 午前9時30分～午後5時  
(入館は午後4時30分まで)
- 【休館日】 毎週月曜日  
(ただし、11月4日と1月13日は開館)
- 【入館料】 一般 200円 / 小・中学生 100円
- 【主催】 横浜開港資料館
- 【後援】 横浜市消防局、中消防署開設100周年  
記念事業実行委員会



★ 雨天・荒天候等、災害の発生などにより、イベントの一部または全部が中止になる場合があります。  
★ 駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

中消防署・中区役所・横浜開港資料館 共同開催

# 《中消防署開設100周年記念》中区防災減災講演会 戦前における消防の発展と横浜



「孟斎芳虎 ポンプ消防之図」神奈川県歴史博物館所蔵資料

横浜は開港から急速に都市化が進み、度々の大火を経験したことで、「組織的な消防」は必要不可欠なものとなりました。

そして大正8年9月1日、中消防署の前身である「第二消防署」が誕生しました。

先人は数々の大火や災害に立ちむかい、それを乗り越える力を身に着け、現在に至ります。

戦前における消防の発展に影響を与えた過去の災害から学び、そして今後起こり得る災害に十分に備えることができるよう、講師からお話をいただきます。

(※ 当日は要約筆記を実施します。)



《講師》  
東京大学大学院教授  
鈴木 淳 氏

日時

令和元年 **11月30日** (土) 14:30~16:30

会場

横浜市開港記念会館  
1階講堂

定員

300名 (先着順・入場無料)  
※事前申込は不要です。

お問合せ

中区役所総務課

TEL 045-224-8112

中消防署総務・予防課

TEL 045-251-0119



中消防署開設100周年

# 中区防災減災講演会 戦前における消防の発展と横浜

## 【講師紹介】

鈴木 淳（すずき じゅん）氏

1962年東京生まれ、1986年東京大学文学部国史学専修課程卒、1992年同大学院人文科学研究科博士課程修了。東京大学社会科学研究所助手、教養学部助教授などを経て2012年から東京大学大学院人文社会系研究科・文学部教授。

著書『明治の機械工業』、『維新の構想と展開』、『新技術の社会誌』、『町火消たちの近代—東京の消防史』、『関東大震災』など



## 【中消防署開設100周年】

安政6年（1859）年、横浜は開港に伴い「外国人居留地」が設けられ、諸外国との文化の交流により急速に発展します。成長した都市部を守るため、大正8年、勅令「特設消防署規定」が公布され、5府県（大阪府、京都府、兵庫県、愛知県、神奈川県）に「消防署」を置くことが定められました。これを受けて、神奈川県は「第一消防署」（現在の西消防署）、「第二消防署」（現在の中消防署）を設置し、同年の9月1日から事務を開始しました。

数々の大火災や関東大震災などの災害を乗り越え、令和元年9月1日、中消防署は開設から100年目を迎えました。記念すべき節目の年に、歴史の伝承と更なる地域防災力の向上を目指して事業を推進していきます。

## 【PR】横浜開港資料館企画展示「横浜の大火と消防の近代史」

中消防署開設100周年を記念した企画展示を開催中です。安政6（1859）年の開港によって都市化が進み、たびたび大火に襲われた横浜の都心部を中心に、開港直後の町火消から戦後の自治体消防にいたる横浜消防のあゆみをたどっていきます。

【会場】横浜開港資料館（横浜市中区日本大通3 TEL：045-201-2100）

【会期】令和元年11月2日（土）から令和2年1月26日（日）まで

【開館時間】午前9時30分～午後5時（休館日は月曜日（月曜が祝日の場合は翌日）、年末年始）

【入館料】 一般200円／小・中学生100円

